

## ▼ネオキシテープ [外]

【重要度】 【一般製剤名】 オキシブチニン塩酸塩 Oxybutynin Hydrochloride 【分類】 経皮吸収型過活動膀胱治療剤

【単位】 ▼73.5mg/枚

【常用量】 1日1枚 (73.5mg)

【用法】 下腹部、腰部、大腿部のいずれかに貼付し、24時間毎に貼り替え [貼付箇所は毎回変更]

貼付予定部位のスキンケアを行う

【透析患者への投与方法】 重篤な腎障害のある患者では腎排泄が遅延するおそれがあるため慎重投与 [経口剤の記載を踏襲] (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 重篤な腎障害のある患者では腎排泄が遅延するおそれがあるため慎重投与 [経口剤の記載を踏襲] (1) 実際には腎機能は PK に影響しない (1)

【特徴】 OAB (尿意切迫感、頻尿、切迫性失禁) に適用される抗コリン薬の貼付剤。経口剤よりも活性代謝物の脱エチル体 (DEO) 濃度 (唾夜腺ムスカリン受容体への結合力が強い) の上昇が軽度。活性代謝物 DEO 濃度は経口剤により低く保たれるが、皮膚障害が多い。

【主な副作用・毒性】 適用部位異常、口内乾燥、便秘、眼調節障害など。皮膚症状にはステロイド外用剤、抗ヒスタミン外用剤などで対応するか休薬する。

【安全性に関する情報】 貼付部位の皮膚反応が比較的高率 (1) 他の経口抗コリン剤よりも口渇は起こしにくいかもしれない (Herbison P, et al: NeuroUrol Urodyn 2019 PMID: 30575999)

【E】

【tmax】 未変化体 18hr, 代謝物 24hr (1)

【代謝】 肝で CYP3A4, 3A5 により代謝 (1) 未変化体と代謝物 DEO との血中濃度比は 1:1 (1)

【排泄】 尿中回収率 1.4% で未変化体はほとんどなし [経皮, 反復投与] (1)

【t1/2】 剥離後: 未変化体・代謝物とも 15hr (1)

【蛋白結合率】 99%以上 [未変化体, 代謝物] (1)

【Vd】 資料なし (1) BBB を通過する (1)

【MW】 393.95

【透析性】 資料なし (1) 除去されないとされる (5)

【O/W 係数】

【相互作用】 抗コリン剤との併用注意 (1) CYP3A4 阻害剤により抗コリン性副作用が増強するおそれ (1)

【備考】 24hr 経過して剥離後も成分は残存しているので、製剤は接着面を内側にして折りたたんで廃棄

【更新日】 20230608

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。